

バス事故防止対策検討ワーキンググループでは、安全運転に関する実態把握のため以下のとおり、実際の路線バスに乗車して調査を行いました。

【実施期間】 令和5年10月～令和6年2月

【調査対象】 自動車事故報告書を分析し、車内事故が多い事業者運行する路線バス

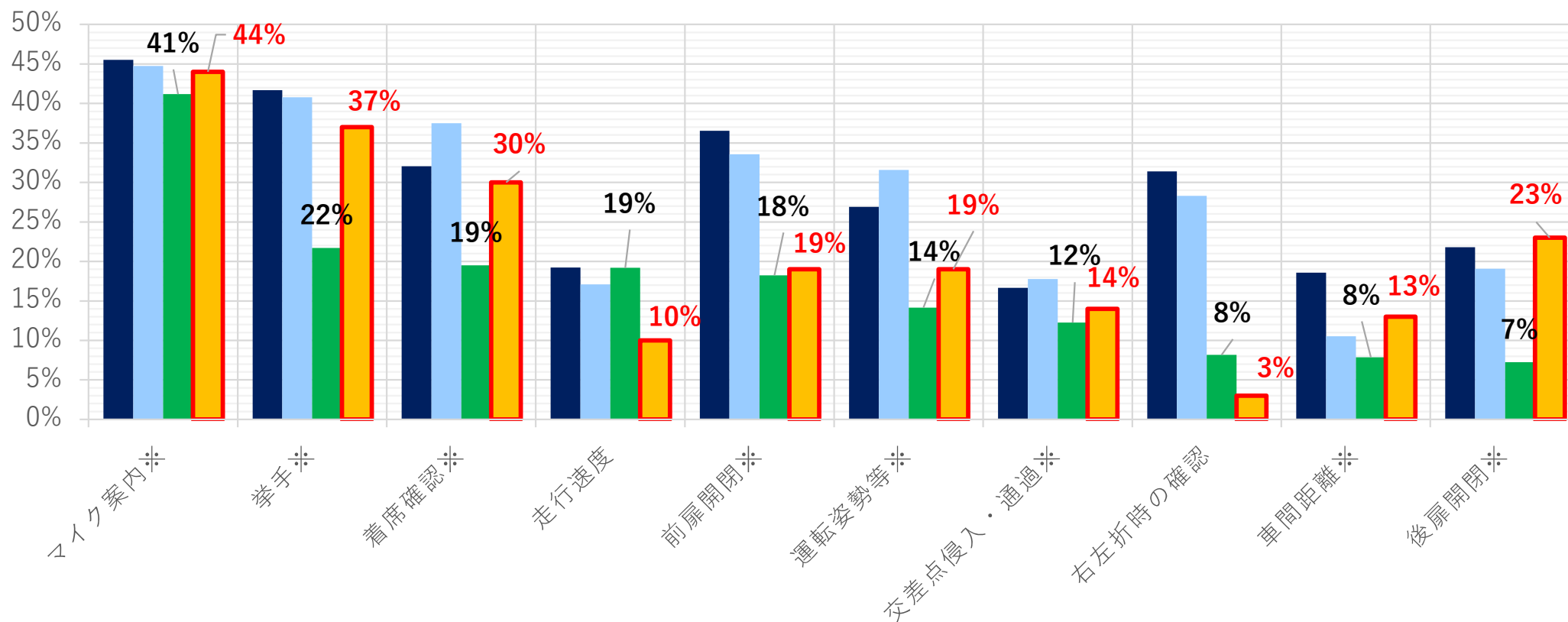
【総添乗数】 79回

調査項目	内容
マイク案内	乗車時、走行中、降車時の案内方法等
着席確認	着席前発進、つり革確認等
前扉、後扉の開閉	見切り操作、乗客の確認方法等
走行速度	制限速度超過等
右左折時の確認	歩行者妨害の有無等
交差点の進入・通過	進入速度、無理な黄色信号進入等
車間距離	社内規定の励行状況等
拳手	社内規定で禁止の場合
運転姿勢等	片手運転等

※参考資料

・国土交通省ホームページ「乗合バスの車内事故を防止するための安全対策実施マニュアル」
平成23年6月 国土交通省自動車交通局、自動車運送事業に係る交通事故要因分析検討会
https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03analysis/resource/data/h22_2_1.pdf

全実施件数に対する要改善の確認件数割合の比較



■ 令和2年度 ■ 令和3年度 ■ 令和4年度 ■ 令和5年度

※令和2年度より、右左折時の確認が「巻き込み側に偏っている」場合は、要改善の確認件数に含めています。

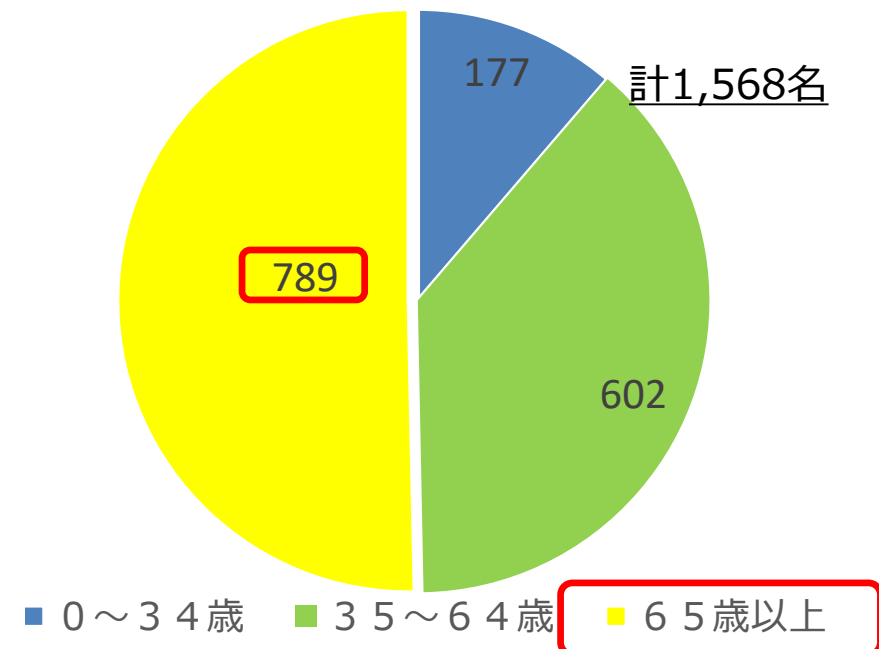
・マイク案内、拳手、着席確認、扉開閉に関する要改善の確認件数割合が多い状況となっている。

【参考】乗合バスの車内事故発生状況（1/2）

- ・関東運輸局管内の乗合バスの車内事故は、令和4年に前年より減少したが一昨年までと同等水準となっている。
- ・車内事故による年齢別負傷者は、平成30年から令和4年までの5年間で1,568名。
- ・そのうち65歳以上は789名で、約半数を占めている。

年	人身事故件数		車内事故件数	
	関東	全国	関東	全国
平成30年	380	1,141	76	352
令和元年	383	1,040	85	318
令和2年	341	813	87	265
令和3年	328	780	107	303
令和4年	363	803	86	246
合計	1,795	4,577	441	1,484

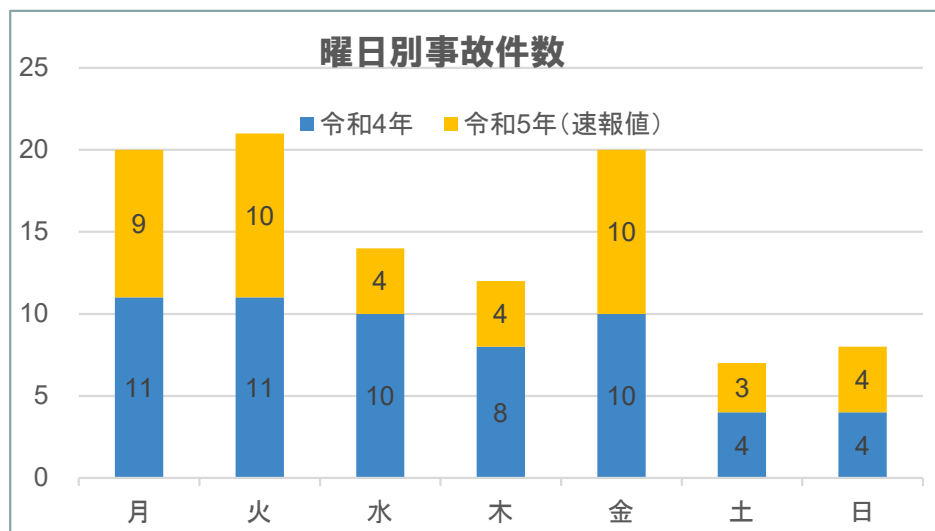
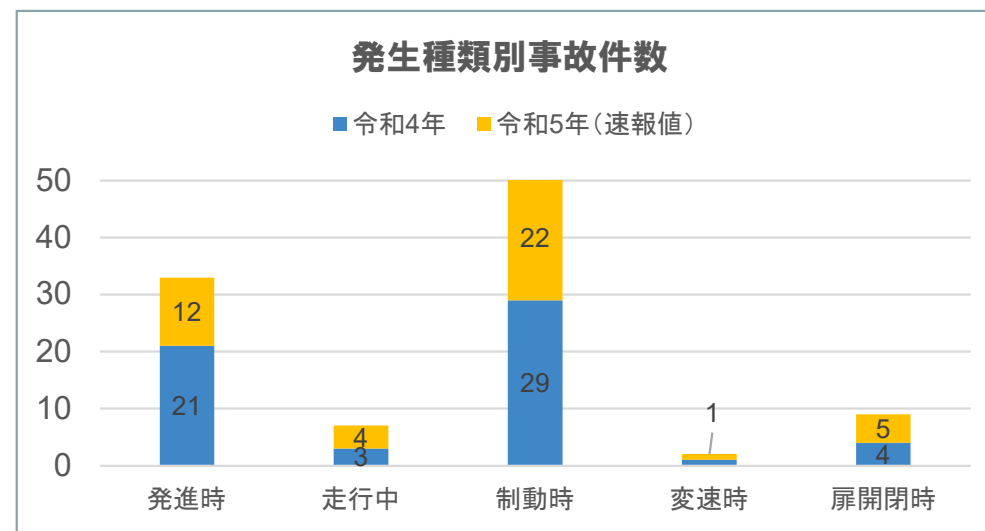
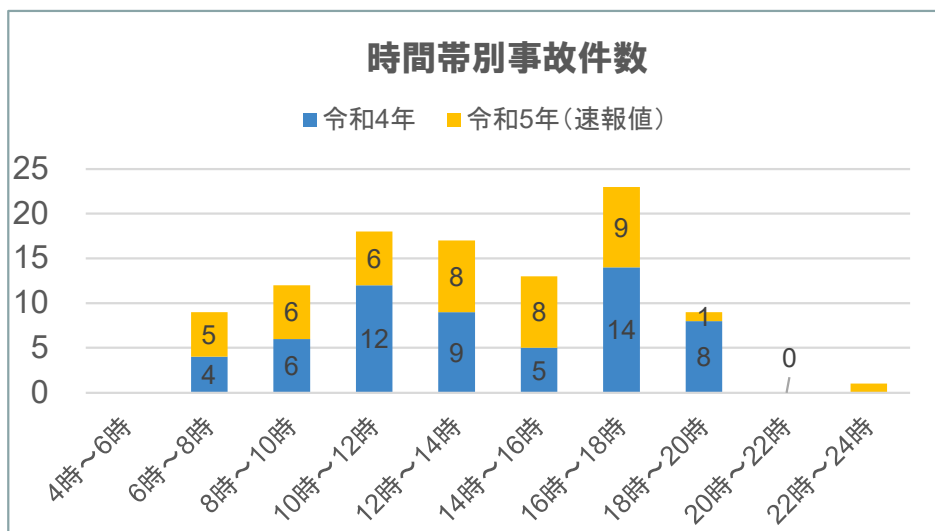
車内事故による年齢別負傷者数（全国）
（2018-2022年）



※出典：（公財）交通事故総合分析センター

関東運輸局管内の乗合バスの車内事故(令和4年58件と令和5年44件(速報値))の*事故報告書の分析

- ・時間帯別：16時～18時に最も多く発生し、次いで10時～12時が多くなっている。
- ・曜日別：平日に多く、土日は少ない傾向。
- ・発生種類別：制動時に最も多く発生し、次いで発進時となっている。



※資料：事故報告規則に基づく、自動車事故報告書より
関東運輸局とりまとめ